

(様式3)

平成27年度動物実験等に関する報告

中央水産研究所

項目	報告内容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計4件
(2) 使用動物種	当該年度の実験に使用した全動物種名 マウス、ラット
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数4課題
(4) 実験課題	課題を順次記載 ① 機能性物質と健全性評価手法の開発、評価及び素材化 ② PUFAおよびセレンによるメチル水銀のリスク軽減作用の解明 ③ 水産物の品質情報として利用可能な科学的指標の探索と応用 ④ 赤身魚由来成分セレノネインの美肌効果の検証
2 点検・評価結果	
(1) 所内規程の制定	中央水産研究所動物実験委員会規則 最終改正平成28年4月1日付け28水機中第1号
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	構成 委員長：水産物応用開発研究センター長 委員：業務推進部、水産物応用開発研究センターおよび水産生命情報研究センターより各1名を選出。 事務局：業務推進部 開催実績：平成27年4月23日、8月18日、12月22日
(3) 動物実験等の実施状況	適正な方法、設備で実施されているか委員会で審査し、承認されている。また、実験結果については、研究所に報告されている。

	(4) 教育訓練等の実施	平成27年11月24日に水研センター本部において開催された「動物実験勉強会」を実験従事者が受講。
	(5) 実験動物の飼養等	水産総合研究センター動物実験規程及び中央水産研究所動物実験委員会規則に則り、適正に飼養されている。
	(6) 総合評価	水産総合研究センター動物実験規程及び中央水産研究所動物実験委員会規則に適合しており、特段の問題はない。